

農政の動き 2015年4月22日～4月24日

◇政府備蓄米の買い入れ 予定数量の99%落札◇

農林水産省は、政府備蓄米の2015年産政府買い入れ入札結果（第6回、4月21日実施）を公表した。提示数量4410トに対して、落札数量は2708トだった。落札数量の合計は買い入れ予定数量25万トに対して、約99.3%となる24万8298トとなった。次回は5月19日の予定。（2015年4月22日）

◇キウイかいよう病の新系統 香川県で初確認◇

香川県は、愛媛県などで昨年猛威を振るった感染力の強いキウイフルーツかいよう病「Psa3系統」が県内で初めて確認されたと発表した。場所は高松市内の農地1カ所。県の簡易検査で陽性反応が出たため、国に診断を依頼した。ニュージーランドなどで大きな被害が出た「Psa3系統」は、5種類あるかいよう病のうち、最も感染力が強く、国内では昨年5月に愛媛県で初めて確認された。（22日）

◇食品の機能性表示 生産者向けに技術的対応策◇

農林水産省農林水産技術会議は「第3回データ収集技術等小委員会」を開き、「農林水産物の機能性表示に向けた技術的対応について（案）」を示した。4月から始まった食品の機能性表示制度に取り組む生産者向けに、農林水産物の成分含有量のばらつきへの技術的対応策をまとめた。機能性成分の分析やサンプリング、規格設定、品質管理などを具体的に明記する。機能性表示制度では、機能性成分の規格（表示する含有量）を届け出者の責任で定め、分析データを国に提出する必要がある、課題とされていた。（22日）

◇自民党 14年度の農業白書案を了承◇

自民党は農林関係合同会議を開き、農林水産省が示した2014年度の食料・農業・農村白書案を了承した。農業白書は、人口減少社会の農村活性化と、新たな食料・農業・農村基本計画を特集する。政府は5月下旬に閣議決定する予定だ。（23日）

◇土産用農産物の検疫カウンター 空港に設置◇

農林水産省は、輸出植物検疫カウンターを成田空港第1・第2ターミナルと福岡空港に4月29日に設置すると公表した。訪日旅行者が土産に持ち帰る国産農産物の申請受け付けや輸出検査、植物検疫証明書発行を行い、販売を促進する。羽田空港と関西空港にも5月中下旬の設置を予定する。（23日）

◇ジビエ料理推進へ自民党議連が試食会◇

自民党の鳥獣食肉利活用推進議員連盟（ジビエ議連、石破茂会長）は、ジビエ（野生鳥獣肉）料理の試食会を開いた。イノシシとシカ肉を使ったソーセージやカレーなど、料理に使いつらい部位を活用したメニューを用意した。林芳正農相は「捕獲に力を入れているが、食べているのはそのうち1割に過ぎない」と述べた。（23日）